

綺麗堂ニュース

○耐震診断・耐震補強

2024年1月1日の能登地震を皮切りに、南海トラフ地震、首都圏直下型地震（令和4年以降30年以内に70%の確率で発生予想）に備えた動きが報道やネットの中で見える機会が増えております。そんな中で、能登地震発生後に、たまたま下記新聞記事に目が留まりました。

(中外日報社 紙面より抜粋 転載許可済)

～震度5強を観測した金沢市本多町の妙心寺派瑞光寺と傳燈寺、少林寺に被害があった。これらの寺を兼務する高橋友峰・寶勝寺（同市寺町）住職によれば、瑞光寺は平安時代作の本尊観世音菩薩が倒れてバラバラになり、仏具や位牌も散乱、建物にも亀裂が生じた。傳燈寺は堂内が散乱し、灯籠も倒れた。少林寺は水道管が破裂したが、建物等への大きな被害はなかった。高橋住職は「震度5強で、経験したことのない揺れだった」と振り返る。「寶勝寺は7年前に耐震補強工事を施していた関係で、建物の損傷や仏像、仏具、位牌もほとんど動くことはなかった。耐震補強工事の重要性を感じている」と話していた。～

弊社では埼玉県にて耐震に対してご高名、かつ、多数の実績を有されている建築設計事務所様のご協力を得て、寺院様のご不安に対応できる態勢を整えました。

○耐震が気になる

○耐震診断をまだ受けていない

ご不安をお持ちの寺院様はご一報下さい。（補助金対象の場合もあります）

少し傾いていた山門

扉が垂れ下がり、床にぶつかり、支えている状態では扉は動きませんでした



(修復後)



浮き上がり、扉の開閉が可能になりました。

(株)綺麗堂

(修復前)

